

**(仮称) 国際交流・多文化共生基本方針策定に向けた
市民ワークショップ実施結果**

**令和4年12月
札幌市国際部**

実施概要

分類	第1回	第2回
実施目的	(仮称) 国際交流・多文化共生基本方針策定に向けて、市民から広く意見等を聞き取ること	
実施場所	札幌市会議室	
実施日時	令和4年7月2日(土) 14:00~16:00	令和4年7月30日(土) 14:00~16:15
参加人数	総計：外国人13名、3グループ Aグループ：5名 Bグループ：5名 Cグループ：3名	総計：31名、6グループ Aグループ：5名(外国人2名、日本人3名) Bグループ：5名(外国人2名、日本人3名) Cグループ：6名(外国人3名、日本人3名) Dグループ：5名(外国人3名、日本人2名) Eグループ：4名(外国人1名、日本人3名) Fグループ：6名(外国人3名、日本人3名)

実施概要(第1回のプログラム)

時刻	項目	目安	内容
13:30	受付開始	30分	・ 受付で名前確認→各テーブルへ案内
14:00	開会	5分	・ 札幌市からあいさつおよび会議趣旨説明 ・ 司会から本日の流れを説明
14:05	情報提供	10分	・ 札幌市から札幌市の国際施策について説明(PPTおよび配布資料)
14:15	意見交換①	20分	・ ファシリテーターが進行(テーブルごと) - 自己紹介 - テーマ①：「札幌市の好きなところ」
14:35	意見交換②	45分	・ ファシリテーターが進行(テーブルごと) - テーマ②：「札幌市の不便なところ」
15:20	意見交換③	25分	・ ファシリテーターが進行(テーブルごと) - テーマ③：「日本人市民との交流機会」
15:45	グループ発表	10分	・ ファシリテーターからグループ内の意見について代表発表(持ち時間3~4分程度)
15:55	まとめ	5分	・ 札幌市から閉会のあいさつ
16:00	閉会		・ テーブルごと謝礼支払いおよび押印をもらう

第1回：Aグループのまとめ

テーマ	キーワード	出された意見
① 札幌市の好きなところ	環境	<ul style="list-style-type: none"> 町が大きくもなく、小さくもない。ちょうどいい。人が少なく、暮らしやすい。 便利な大きいまちでありながら、緑が多く、自然が身近に感じる。
	食べ物	<ul style="list-style-type: none"> 魚やお寿司がおいしい。
	人	<ul style="list-style-type: none"> 人がやさしい。道を尋ねたら、場所を教えてくれたのみならず、目的地まで同行してくれた。
② 札幌市の不便なところ	行政	<ul style="list-style-type: none"> 業務の効率が悪い。デジタル化が遅い。手続きが面倒。 行政に声が届かない。届ける方法を知らない。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> 難しい言葉にふりがなを振るような「やさしい日本語」は外国人にやさしいとは思わない。 尊敬語や謙譲語、くどい話し方を理解するのが難しい。
	生活	<ul style="list-style-type: none"> 除雪が大変。 ゴミの分別が難しく、なかなか覚えられない。 バス停の場所がとてもわかりづらい。
	偏見・差別	<ul style="list-style-type: none"> 自分を1人の人間ではなく、国籍という色で見られている。 外国人という理由のみで、賃貸住宅を拒否された。 日本生まれ日本育ちの子供でも外国人扱いされる。
③ 日本人市民との交流機会	交流の機会	<ul style="list-style-type: none"> ママ友を通してたくさんの友達ができた。 仕事以外の交流相手があまりいない。
	交流の手段	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で国籍を問わない自然な友達作りがしたい。 国別のものを教え合うより、何かのテーマや課題について、一緒に考える交流をしたい。 趣味を通じた交流をしたい。

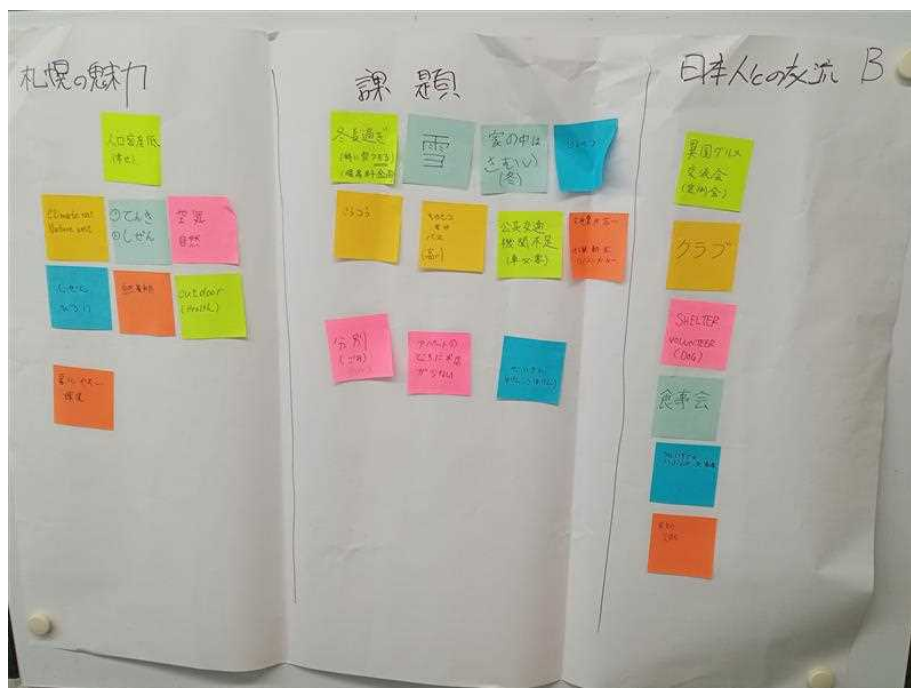
第1回：ワークショップの時のまとめ【Aグループ】



第1回：Bグループのまとめ

テーマ	キーワード	出された意見
① 札幌市の好き なところ	環境	<ul style="list-style-type: none"> 札幌の天気は大好き。時々雨が降るのもよい。湿度は故郷より高いが、東京よりは低いのが良い。 緑が多い。空気がいい。母国と比べて夏も涼しく暮らしやすい。 人口密度が大都会と比べて低いので、電車に乗る時のラッシュがなく、精神的に余裕も出てくる。コロナの感染リスクも低い。
② 札幌市の不便 なところ	行政	<ul style="list-style-type: none"> 税金、健康保険代が高い。
	生活	<ul style="list-style-type: none"> 冬は家の中が寒い。暖房代も高い。冬はつらい。 ゴミ分別のルールが分かりにくい。特に大型ごみを捨てるのが難しい。 免許がないと、買い物などの移動が不便。 交通費が高い。
③ 日本人市民と の交流機会	交流の機会	<ul style="list-style-type: none"> 普段職場に日本人と接する機会があるので、日本人の友人が多い。 日本人との交流は、日本語の先生やアルバイト先、買い物をするときくらいしかない。 日本人と暮らしている。 学校で日本人の学生と交流している。
	交流の手段	<ul style="list-style-type: none"> 言葉が得意でなくても集まりやすいので、料理を通じた文化交流がいい。 同じ興味を持っている人が集まる場があるとよい。例えば週に1回何かのテーマでイベントを行うなど。 地下鉄構内での広報等を活用し、人が集まるところでの情報発信が必要である。

第1回：ワークショップの時のまとめ【Bグループ】



第1回：Cグループのまとめ

	キーワード	出された意見
① 札幌市の好き なところ	環境	<ul style="list-style-type: none"> 必要なものが手に入る。都市機能は揃っている。 札幌が大好きで、特にまちなみが好き。道路がまっすぐ通っていて、上からみると美しい。 自然がきれいで、夏も涼しい。さっぽろ雪まつりなどは、札幌ならではの魅力もある。 家賃や税金は東京より安い。
	人	<ul style="list-style-type: none"> 日本に来てからできた親戚が札幌で暮らしており、自分にとって大切な存在。
② 札幌市の不便 なところ	行政	<ul style="list-style-type: none"> 税金の手続きがよくわからない。 情報の周知等は、紙でもらってもすぐ捨ててしまう。デジタル化が遅い。
	生活	<ul style="list-style-type: none"> 家を借りる際に保証人を求められたり、SIMカードを購入する際に電話番号を求められたりして、戸惑いを感じる。 銀行口座の開設手続きは時間がかかる。 駐輪場が少ない。 冬の光熱費が高い。雪でJRやバスもよく動かなくなる。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> 病院等では日本語しか通じないので、1人で行けない。 自分の主張をすると、和を乱したと思われる。
③ 日本人市民と の交流機会	交流の手段	<ul style="list-style-type: none"> 農作業体験や小学校訪問、普段馴染みの薄いことを一緒にできる機会があると良い。 ピアガーデンやスポーツなどのイベントを通じた交流をしたい。 映画やドラマのワンシーンの翻訳、歌の意味、ダンスの意味などの学びを通じた交流会がいい。 日本の祝日は外国人にとっては意味がよくわからないことが多い。祝日の過ごし方を伝えるようなイベントがあると良い。

第1回：ワークショップの時のまとめ【Cグループ】



実施概要（第2回のプログラム）

時刻	項目	目安	内容
13:30	受付開始	30分	• 受付で名前確認→各テーブルへ案内
14:00	開会	5分	• 札幌市からあいさつおよび会議趣旨説明 • 司会から本日の流れを説明
14:05	情報提供①	5分	• 札幌市から札幌市の国際施策について説明（PPTおよび配布資料）
14:10	情報提供②	5分	• アンケートの結果について説明
14:15	意見交換①	15分	• ファシリテーターが進行（テーブルごと） –自己紹介 –今回のワークショップに参加した理由
14:30	意見交換②	35分	• ファシリテーターが進行（テーブルごと） –テーマ①：「外国人市民の困りごと、不安」
15:05	意見交換③	35分	• ファシリテーターが進行（テーブルごと） –テーマ②：「日本人市民と外国人市民が共に協力し築く地域社会」
15:40	意見交換④	20分	• ファシリテーターが進行（テーブルごと） –テーマ③：「多文化共生社会の実現に向けた札幌市の取組」
16:00	グループ発表	15分	• ファシリテーターからグループ内の意見について代表発表（持ち時間2～3分程度）
16:15	閉会		• テーブルごと謝礼支払いおよび押印をもらう

第2回：Aグループのまとめ

テーマ	キーワード	出された意見
① 外国人市民の 困りごと、不 安	行政	<ul style="list-style-type: none"> 役所の手続きは日本人でも戸惑うことがある。外国人なら余計大変。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> 病気になった時、病院を受診した時の意思疎通が大変。
	日常生活	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物に制限がある人にとって、成分表示が分からないと困る。 外国人に部屋を貸してくれないオーナーがいると聞いたことがあり、アパート探しが大変。 生活上のルール（ゴミ捨て他）がわからない。
② 日本人市民と 外国人市民が 共に協力し築 く地域社会	相互理解・ 意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> 外国人が日本語や日本文化を学ぶ必要がある。 人は皆、個性があることを前提に考える必要がある。 日本人、外国人ともに「オープンマインド」が重要。心を広く持って、物事に接するとよい。 早いうちからの教育が重要。幼稚園や小学校の必修科目に国際協力授業を入れればよい。
	交流活動	<ul style="list-style-type: none"> 日本人と外国人の双方が参加する多国籍イベントの開催や定期的な交流会が必要。 人間関係の相談サポート窓口を設置（学校、職場などで）すると良い。 近所に知り合いができると安心材料になるので、町内会の役割が重要。 似たような職業、趣味、ママ友等、共通することがあって自然な友達づくりができる交流会を開催するとよいと思う。
③ 多文化共生社 会の実現に向 けた札幌市の 取組	手続き関係	<ul style="list-style-type: none"> 区役所で窓口サポートスタッフを配置してほしい。 札幌市の手続きフォーム、ホームページ、手紙は日英併記で書いてほしい。 外国人が家を借りるときの保証機関を作してほしい。
	意識啓発・ 市民交流	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも参加できる場を提供してほしい。 多文化共生の教育について、特別授業（出張事業）という形で小・中・高へ伝えに行ってもらいたい。 仕事をしている外国人も通いやすい日本語教室を開催してほしい。

第2回：ワークショップの時のまとめ【Aグループ】



第2回：Bグループのまとめ

テーマ	キーワード	出された意見
① 外国人市民の 困りごと、不 安	言葉	<ul style="list-style-type: none"> 片言の日本語しかできない人は日本人の友達が作りにくい。 役所からの通知がすべて日本語で、接種予約や接種証明などの手続きが大変だった。
	日常生活	<ul style="list-style-type: none"> 運転免許がないと不便。 エアコンがない。暖房代が高い。住居探しと退去手続きが難しい。 食べ物に制約が多い外国人は買い物に難しい。
② 日本人市民と 外国人市民が 共に協力し築 く地域社会	相互理解・ 意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> 他国から来た人の文化や思考が自分と異なるのは当たり前だと理解して、相互に尊重することが共生に繋がると思う。 日本でもっと英語を勉強できる機会が増えたらいいと思う。 北24条や行啓通など、昔は商店街でイベントの開催などをしてきた。こういう場が増えることは、外国人が日本社会で共生していく足がかりになると思う。
	交流活動	<ul style="list-style-type: none"> 外国人が日本の子供に外国語を教える機会があると良い。 テーマにとらわれない議論の場があると良い。 料理を通じて、お互いの文化に触れる機会を作れるといいと思う。
③ 多文化共生社 会の実現に向 けた札幌市の 取組	手続き関係	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの制限を緩和してほしい（外国語でも可、手続きが平日以外でも可など）。 手続きの書類や通知を多言語化してほしい。 市の中心の目立つ場所の1階に外国人向けの案内所を設置してほしい。
	意識啓発・ 市民交流	<ul style="list-style-type: none"> 世代や国籍にとらわれず交流ができる場所を設置してほしい。 札幌に来て1年目の外国人に対し、格安で公共交通機関が使えるパスを配布してほしい。それを通して、外国人に札幌をもっと知ってもらえる機会になれるかもしれない。

第2回：ワークショップの時のまとめ【Bグループ】



第2回：Cグループのまとめ

テーマ	キーワード	出された意見
① 外国人市民の困りごと、不安	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院で病状を説明できない。 ・ やさしい日本語がわかりづらい。
	日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地震で何が起こるのか知らない。どう行動したらいいのかわからないので不安。 ・ 出産などの情報が少ない。 ・ 電車の発車時刻表がよくわからない。 ・ 何が違法行為かわからない。来たばかりの外国人には不安。
② 日本人市民と外国人市民が共に協力し築く地域社会	相互理解・意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ お互い後悔しないように、常識に基づいてストレートに言うことが必要。 ・ 日本人もやさしい日本語を学ぶ必要がある。外国人に正しく伝わるようなやさしい日本語を学ぶ機会があったらいい。 ・ 市民のためのカルチャースクールを運営してほしい。
	交流活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道の食材を使った外国の名物を作る取組はあってもいいのではないかと。 ・ 外国人が市に貢献できるチャンスを作ると良い。 ・ 交流のイベント等が通知できるアプリを開発して、市民にダウンロードしてもらおうと良い。 ・ 国際プラザのような場所を各区で増やすのはどうか。
③ 多文化共生社会の実現に向けた札幌市の取組	手続き関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人に向けた情報案内を増やしてほしい。外国人向け専用就職サイトがほしい。 ・ 外国語対応サービスセンターや外国人版「こども110番の家」を設置してほしい。 ・ 外国語の対応ができる職員がもっと必要。 ・ 多言語表記の看板を拡充してほしい。
	意識啓発・市民交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 札幌または北海道の特産物と特定の国とのコラボの取組をしてほしい。

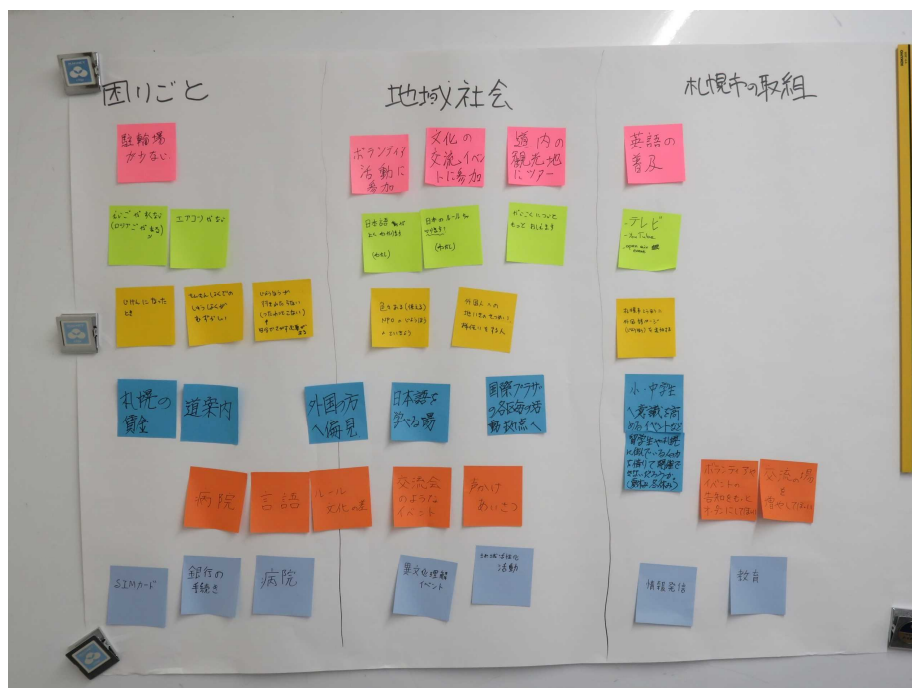
第2回：ワークショップの時のまとめ【Cグループ】



第2回：Dグループのまとめ

テーマ	キーワード	出された意見
① 外国人市民の 困りごと、不 安	言葉	<ul style="list-style-type: none"> 札幌は東京や大阪などと比べて、公共の表記に英語が少なく不便に感じることがある。 外国語表記と言っても、英語のみだと、英語がわからない外国人が困る。 日本語が少しできて、病院の専門用語がわからない。
	日常生活	<ul style="list-style-type: none"> 事故や事件に巻き込まれたときに、警察や病院などへの対応が外国人は困難。 外国語や専門知識を有する外国人の就職先を確保するのが難しい。 日本で重視される固有のルールや文化がわからず戸惑うケースもあるのではないかな。
	偏見・差別	<ul style="list-style-type: none"> 日本人は外国人への差別意識（特にアジア・ASEANの人）を持っていると感じている。
② 日本人市民と 外国人市民が 共に協力し築 く地域社会	相互理解・ 意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> 外国人が日本語を勉強し、日本のルールや文化を理解することが重要。 高齢者の活躍の場として日本語教育含めて外国人サポートができる仕組みができるとよい。 日本の学校教育でもっと他の国の文化や考え方を教える必要がある。
	交流活動	<ul style="list-style-type: none"> 外国人が利用できるNPOやボランティア団体の情報発信が重要。 外国人の生活エリア・コミュニティと外国人をつないであげられる人や組織があるとよい。 区役所単位で国際交流プラザの機能を展開する必要がある。
③ 多文化共生社 会の実現に向 けた札幌市の 取組	手続き関係	<ul style="list-style-type: none"> 公的機関における英語ができるスタッフを拡充してほしい。 札幌市の広報誌に外国語ページ（もしくは訳）を追加してほしい。特にイベント情報。
	意識啓発・ 市民交流	<ul style="list-style-type: none"> メディアを活用し、外国人へのインタビューを発信してほしい。 外国人の力を借りて小中学生へ意識を高めるイベントなどを開催してほしい。 外国人と日本人が交流できる場を設置してほしい。

第2回：ワークショップの時のまとめ【Dグループ】



第2回：Eグループのまとめ

テーマ	キーワード	出された意見
①外国人市民の困りごと、不安	日常生活	<ul style="list-style-type: none"> 原材料の記載が少ないため、食事制限の多い外国人は食物の購入が難しい。 外国人と日本人の交流機会が少ない。どこから情報をもらえるかわからない。 ゴミの分別方法がわかりにくい。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> 書類の様式が外国文化に適さないケースがみられる（ミドルネームの欄がないなど）。 多言語対応可能な職員は、外国人への対応にとっても慣れていない。 適切な窓口や申請書を見つけることは難しい。特に行政手続き特有の文言が難しい。
	偏見・差別	<ul style="list-style-type: none"> 出身国ごとにステレオタイプの押し付けがある。
②日本人市民と外国人市民が共に協力し築く地域社会	相互理解・意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> 日本人が外国人の文化を理解するという習慣が身に着くとよい。 札幌では、外国人＝観光客となり、一緒に暮らすという意識をもちにくい。 学校教育では、外国語のみならず、外国の文化を教える必要がある。 ルールがわからず困っている人に対して当事者意識を持つことが必要である。
③多文化共生社会の実現に向けた札幌市の取組	手続き関係	<ul style="list-style-type: none"> 区役所の窓口職員の研修が重要。言語力を上げることでなく、外国人対応マニュアルの徹底・研修を行ってほしい。 生活の困りごとを相談できるようなソーシャルワーカーの存在をもっと発信してほしい。 コンビニのSOSネットワークのように、情報を教えてもらえる場所を増やしてほしい。
	意識啓発・市民交流	<ul style="list-style-type: none"> ALTによる授業を小学校1年生からに繰り上げ、外国文化に触れあえる機会を低学年のうちから提供してほしい。 中学校区単位で地域内の外国人と国際交流に関心をもつ住民とが交流できるイベントを開催してほしい（お祭りやスポーツ、グルメ、除雪など）

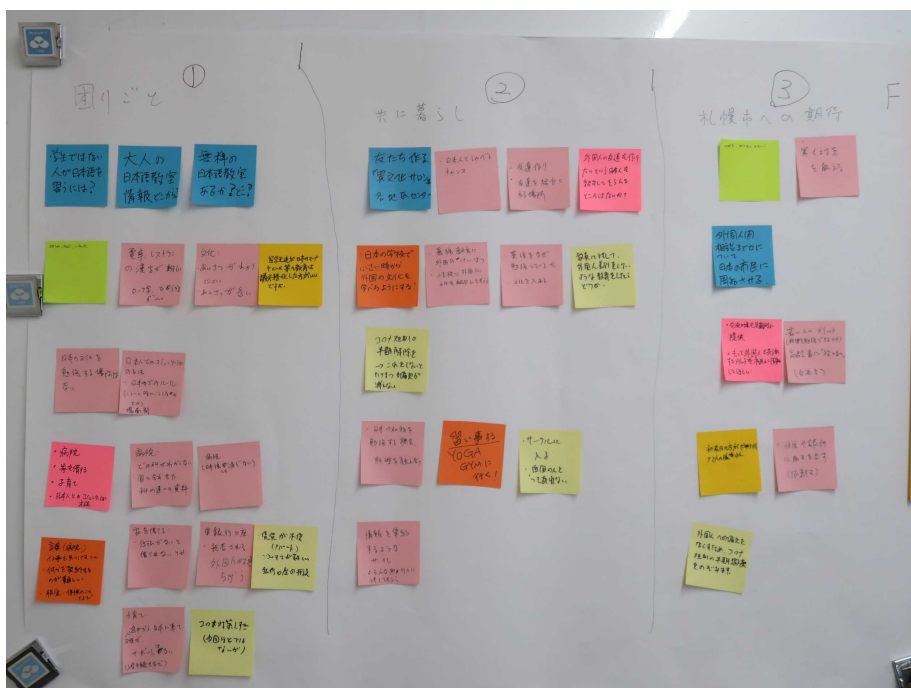
第2回：ワークショップの時のまとめ【Eグループ】



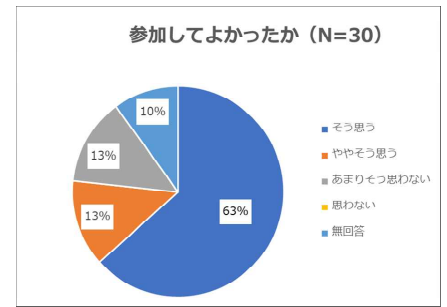
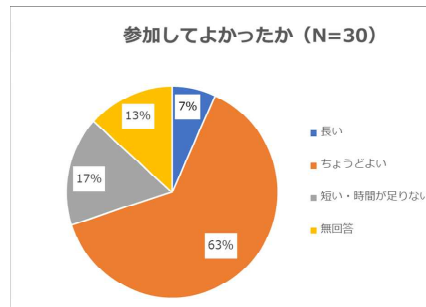
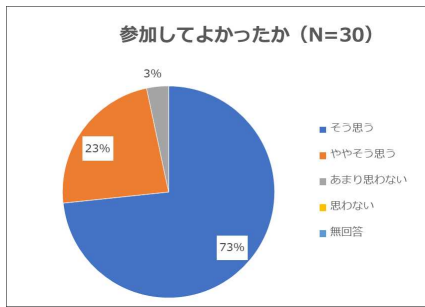
第2回：Fグループのまとめ

テーマ	キーワード	出された意見
①外国人市民の困りごと、不安	言葉	<ul style="list-style-type: none"> 電車やレストランのメニューは漢字表示しかなく、理解しにくい。 日本語ができないと、あまり仕事も見つけれられない。 大人向けの無料の日本語教室はどこにあるか、情報がわからない。
	日常生活	<ul style="list-style-type: none"> 日本語のわからない人は病院へ行きづらい。 家を借りようとしたとき、住所が必要と言われ、とても困っていた。 日本の文化や習慣を勉強できる場所はない。具体的な場面別の日本の生活のルールはわからない。
	偏見・差別	<ul style="list-style-type: none"> 新規口座の開設を拒否されたり、日本人より開設手続きの期間が長くなったりすることがある。
	教育	<ul style="list-style-type: none"> 途中から来日する子供への支援はあまりない。入学手続き等はわからない。
②日本人市民と外国人市民が共に協力し築く地域社会	相互理解・意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> 日本の義務教育における外国意識の啓発が大事。 小学校の授業で外国人に外国の文化を紹介してもらおうと良い。
	交流活動	<ul style="list-style-type: none"> 外国人に友達ができれば、困ることが自然に解決できるので、友達作りが大切。外国人の友達を作りたいという日本人を紹介してくれる場所が望ましい。 各地区センターに「異文化サロン」を開催すると良い。 情報を集約するようなサイトが必要。
③多文化共生社会の実現に向けた札幌市の取組	手続き関係	<ul style="list-style-type: none"> 寒さ対策の資料を作成して、外国人に配布してほしい。 外国人の家の賃貸や銀行の口座開設等への支援策として、関係機関に依頼文を出してほしい。 日本に初めて来た外国人にボランティアを派遣してほしい。
	意識啓発・市民交流	<ul style="list-style-type: none"> 今回のような交流の場を定期的に提供してほしい。 外国人と交流するメリットをもっと日本人市民に周知してほしい。 外国人用の相談窓口に関する情報を日本人市民に徹底的に周知してほしい。

第2回：ワークショップの時のまとめ【Fグループ】



アンケートの結果



分類	出された意見
よかったところ	<ul style="list-style-type: none"> 私の大学は留学生が少ないので、このようなワークショップに参加することができて本当に良かった。 日本語が下手な私でも気軽に意見を共有できてよかった。 参加者のいろいろな意見を聞くことができて勉強になりました。
改善点	<ul style="list-style-type: none"> 隣のグループとの距離が近すぎた。自分のグループの声がよく聞こえなかった。 時間が短った。言いたいことをすべて言い出せなかった。 参加したグループの人数が少なく、色々な外国人の話を直接聞きたかったため、少し物足りない感じがあった。
期待	<ul style="list-style-type: none"> テーマにとらわれない交流会を開催してほしい。 キャンプ場等で交流型ワークショップを行い、グループワークを行ってほしい。 ぜひ定期的に開催してほしい。ボランティア活動でも参加したい。 もう少し具体的なイベントの立ち上げ等に向けたイベント企画のワークショップを開催してほしい。 外国人労働者が札幌・北海道のためになっているかを市役所のような公的機関が市民に伝えてほしい。